

この人に インタビュー

INTERVIEW

副会長・瑞浪支部長
(株)野平木材 代表取締役社長

野平 琢朗 氏

インタビュー

広報委員（青年部会）(有)ふじ工房

塚本 修久

広報委員（青年部会）(株)O T K

大橋 英幸

広報委員長 (株)4x4エンジニアリングサービス

松本 信廣



(株)野平木材

〒509-6134 瑞浪市松ヶ瀬町1-9
TEL 0572-68-5258 FAX 0572-68-5259

野平 琢朗 氏 プロフィール

生年月日 昭和8年12月8日

血液型 A型

家族 母上様

(ご長男ご一家が近くにお住まいです。)

明けましておめでとうございます。
広報委員会より青年部会の二方と、インタビュー
に伺いました。よろしくお願い致します。

こちらこそどうぞよろしく。

まず、この部屋に掲げてありますこの額は何でしょ
うか？

これは明治37年（1904年）の暦です。私の5代
前の野平興次右工門という先祖が、名古屋の印刷屋
へ注文して作ったものですが、当時の得意先の顧客
に配ったのでしょう。その当時としては珍しく、自
分の名刺も作っていたんですよ。

明治の時代に斬新なことをやってみえたんです
ね。他には何かありますか？

この先祖は結構大きな商売をしていたようです。
明治34年に多治見銀行で300円の小切手を振り出し
しているんです。大工の日当が66銭の時代ですから
現在の1,000万円位に相当すると思いますよ。また
明治40年に市之倉小学校の校舎を建てております。
その記念に市之倉の陶芸家の作品、染付けの壺1対
をいただいて今も大切に保存しております。

明治の中期に興次右工門さんは材木商としてかな
り大きな仕事をしてみえたのですね。では改めまし
て野平木材の発祥の地と時代をお伺いします。

最近読まれた本は？印象に残った本は？

ジョージソロスの「ブッシュへの宣戦布告-アメリカ単独覇権主義の危険な過ち」、矢作弘の「産業遺産とまちづくり」を読みました。それから、教科書問題で話題の西尾幹二氏の「日本がアメリカから見捨てられる日」を読み終えたところですが、これはある方から頂いて読んだ本です。

野平さんの読書は、巾は広いし奥も深い、驚きました。

経済については、週刊ダイヤモンドを愛知機械にいた時から40年来購読していますが、あれはいい経済誌ですよ。バブルの頃、ずいぶんと警鐘を鳴らしていました。私はあの雑誌で、バブルの崩壊を早く予知し、一切手を出さなかった。最近ちょっと編集内容が変わってきました。私が年をとったせいかな、私の関心から離れた記事が多くなったような気がします。

地域は人づくり、土壌づくり、風土づくり。 企業は3つの品質向上を

昨年の11月から商工会議所会頭にご就任とのことですね。地域を活性化するには何が重要でしょうか？

瑞浪市についていえば、窯業界が占める工業出荷額の割合が以前は75%だった。今は35%程度に落ちています。電機・機械・化学・ITなど、窯業に替わる他の産業が弱いし土壌もない。風土がない。この点が問題です。

別の物づくりを起こそうとしても、ハードもない、ソフトもない、ですね。

市はクリエイションパークを造成して、企業誘致を熱心にやっています。大変期待しています。豊田地区も近くなりますし、進出企業には子も孫も連れて来てもらおうといいですね。でないとな賑やかにならない。

この地域に根を張ってほしいということですね。瑞浪市の人口は？

約42,000人です。瑞浪は上下水道が進んでおりますし、居住空間としては緑が多く整備された道路、過去の豊かな

▶「青山緑水」の掛け軸の前で
塚本、野平、松本、大橋、の各氏

文化もあり、温厚な土地柄、とても住み良い環境だと思います。

複合型の産業構造になっていませんから、残念ながら地元で窯業以外の技能労働力がない。良い人材は他地域へ出て行ってしまふ。これを変えるには時間がかかります。優良企業に来てもらうには最終的には土壌づくり。地元で優秀な進学校が必要ですね。

子供の学力の低下、ゆとり教育の見直しなど、報道されていますが。

教育の格差、都会と田舎の格差、所得による格差、いろいろ問題ですね。今の子は字引きの引き方を知らない。解決の手法が分からない。物事を解決するには基礎知識が必要ですから基礎的な学問はしっかりと教育し、勉強させなければと思います。

昔は魚の骨を書いて、いろんな発想法で結論を出しましたね。

最後に、21世紀の企業にとって何を重視すればよいのでしょうか。

第1には経営の品質、先を早く見る目ですね。第2には商品・製造物の品質、技術開発、デザインも含めて良い品であれば高く売れる。第3にはサービスの品質。今後、アジアの元気な国々に対抗するには、この3つの品質が地場産業ばかりで無く日本の企業の命運を大きく左右することだろうと思います。

本日はありがとうございました。

